
メガネ男子 = 萌え

耳たれ黑白パンダ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メガネ男子〃萌え

【ISBN】

978414

【作者名】

耳たれ黑白パンダ

【あらすじ】

彌生高校に入学してきた朱音ののほーと萌えええーーな物語。
(うん、あらすじちやいますね。あらすじの意味 자체作者はわかつ
とりません)

入學式

どうも。初めまして。耳たれ黑白パンダです。
よくたれ耳白黒パンダと間違われますが・・・
耳たれ黑白パンダです。

さてさて、初めての小説ですが・・・
作者のなかでは単なるヒマつぶしです。
なので更新も不定期～なんです（？　？、）
まあながーーーい日で見守ってやってください。
ではでは・・・・（（タイトルは気にすんなし

入学式そうそう遅刻なんて嫌だ。

おっさん並みに野太い声を出してドカッと椅子に座った私を見て、隣のメガネ男子（萌えええっ！）がそんな声を出す。

高だぞ少年！！

「あ、あの・・・竹光朱音さんですよね。僕、夕凪透つて言います」
「たけみつ あかね ゆうなづひおる」
しかも僕っ！。なんのこの子！ 最近地味に頑張つてた私に神様
はこんな可愛い子をお持ち帰りしていいと！（んなわけあるかい）

ל' אוגוסט

むへへへへへへへへへへ(ry)

「え～、新入生のみなさん、彌生高校の一年生としてほk（（割愛）」

うあ～・・・・なげえ・・・・

ただいま校長先生の話聞いてます。

無駄にながいんだよこれがまた奥さんーー！

はい、現実逃避。

「これから3年間頑張つてください」

んで入学式終了

わあ！――高校生活だ！青春だ！！萌えだ！！

「あつかねえ！――なんでだつ――なんでおまえがつ――おまえみてえなバカが公立につ――！」

「こよ？？」

聞いたことがある声がした。そつと振り向けば・・・
振り向けば奴がいた（？？、）

「どおうづづづづづづ――！――なんでおまえがつ――なんでおまえがつ――！――なんでおまえがつ――！――タジン鍋がつ――！」

「タジン鍋言うつな――！田島だつ――！田島信之だつ――！」

「怒るな、タジン鍋」

「だからタジン鍋ちやう言いつて――！」

お、出た――！関西弁――！

「関西弁萌えええ――！」

「うん。ほつとこ。うん」

なぜか私にひややかゝな視線を向けるタジン鍋。
なぜだいっ！？なぜだつ！？

「そんなこと言わずに――・・・

「みんな、こいつは俺の友達じゃない。ないんだ――！――

そんなことを言いだすタジン鍋。

ふうううん？？いい度胸してるね。タジン鍋へ　へ

「タジン鍋」

「ん？話かけんな」

「私たち・・・友達だよね？？？ねえ？？モダチだよねえ？？？」

へ　へ

『うづづづづづづ』とオーラを出してつつタジン鍋を追い詰めてみる。

「ひいいっ！――すんまへん！すんまへん！――」

涙目になりながら謝るタジン鍋。

・・・・・・・・・・・・・・

「萌えええええええ！」

! !

そのあとに日本書・・・

うん

～おまけ～
タジン鍋の憂鬱

「ああ・・・俺立ち直れねえ・・・」

作者「うん。これから頑張れ（ぽんぽん）」

「うん・・・・・つえ？？？誰ー？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9841y/>

メガネ男子＝萌え

2011年12月1日18時45分発行